

**DRUG**

**INFORMATION**



2011 No. 1

平成23年1月20日発行

採用薬品の後発薬品への切替について

岐阜大学医学部附属病院薬剤部  
医薬品情報管理室  
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。  
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。  
[di8931@gifu-u.ac.jp](mailto:di8931@gifu-u.ac.jp) (担当：安田)

## 採用薬品の後発薬品への切替について

表 1 に記載した本院採用薬品について、後発薬品に切り替えることが昨年 12 月 20 日開催の科長会議で承認されました。つきましては、これらの採用薬品については 2 月 1 日以降、院内の在庫がなくなり次第順次後発薬品へ切り替えることとします。院外処方についても、院内の処方が後発薬品に切り替わると同時にオーダーに追加することと致します。なお、院外処方では従来の先発品を処方することも可能ですが、調剤薬局の在庫管理を考慮のうえ、やむを得ない事情(後発品に保険適応がない、患者からの強い要望がある等)を除き後発品への変更不可の指示は避けていただくようご配慮願います。

### 【採用薬品数について】

当院での採用薬品数(複数規格を含む)は、現在 **1,382 品目**(このうち、後発薬品へ切替可能なものは **515 品目**)であり、今回の後発品への切替後の採用後発薬品数は **79 品目**(全品目の **5.7%**、後発切替対象品目の **15.3%**)という状況です。

### 【オーダーについて】

処方オーダー時の薬品検索では、新規採用の後発薬品名および旧採用の先発薬品名のいずれからでも検索出来るように致します(例えば、新たに切替採用となる**アスケート錠 300mg**の場合は、『アスケート』、『アスパ<sup>ラ</sup>カリウム』のいずれでも検索出来るようにします)。ただし、切り替えの際は先発品と後発品の両者が混在する場合がありますため、処方選択ミスに注意してオーダーして下さい。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

表1. 後発薬品への切替品目

医薬品名および会社名	成分名	薬品分類
アスパラカリウム錠 300mg(田辺販売) → アスケート錠 300mg(共和)	L-アスパラギン酸カリウム	無機質製剤
塩酸バンコマイシン散 0.5g(塩野義) → 塩酸バンコマイシン散 0.5g「MEEK」(明治)	バンコマイシン塩酸塩	グリコペプチド系抗生物質製剤
ガスコン錠 40mg(キッセイ) → ガステール錠 40mg(扶桑)	ジメチコン	胃腸内ガス駆除剤
ガスロンN錠 2mg(日本新薬) → イルガス錠 2mg(日医工)	イルソグラジンマレイン酸塩	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤
スローケー錠 600mg(ノバルティス) → ケーサプライ錠 600mg(アルフレッサ)	塩化カリウム	徐放性カリウム剤
ゾビラックス錠 200mg(GSK) → ビクロックス錠 200mg(明治)	アシクロビル	抗ウイルス化学療法剤
ダーゼン 10mg錠(武田) → ヒシターゼ錠 10mg(ニプロファーマ)	セラペプターゼ	消炎酵素剤
ニポラジン錠 3mg(アルフレッサ) → メキタゼノン錠 3mg(日医工)	メキタジン	持続性抗ヒスタミン剤
ハルナール D 錠 0.2mg(アステラス)* → ハルスローOD 錠 0.2mg(沢井)	タムスロシン塩酸塩	排尿障害改善剤
ビソルボン錠 4mg(ベーリンガー) → ビソポロン錠 4mg(日医工)	ブロムヘキシン塩酸塩	気道粘液溶解剤
ブラダロン錠 200mg(日本新薬) → ウロステート錠 200mg(あすか)	フラボキサート塩酸塩	頻尿治療剤
プルゼニド錠 12mg(ノバルティス) → センノサイド錠 12mg(日本化薬)	センノシド A・B カルシウム塩	緩下剤
ユベラ錠 50mg(エーザイ) → ビタミン E 錠 50mg「NT」(三和化学)	トコフェロール酢酸エステル	ビタミン E 剤

\*：ただし、ハルナール D 錠については泌尿器科の臨床研究で使用中的のため、当該診療科のみ処方できることとします。

\*L-アスパラギン酸カリウム

Potassium L-Aspartate

【商】アスケート Ascate 共和  
内用：錠剤 1錠中 300mg (K<sup>+</sup>:1.8mEq)

[後 5.8 円/錠]

【効】下記疾患又は状態におけるカリウム補給：降圧利尿剤・副腎皮質ホルモン・強心配糖体・インスリン・ある種の抗生物質等の連用時、低カリウム血症型周期性四肢麻痺、心疾患時の低カリウム状態、重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後

【用】1日 900～2,700mg を3回に分割投与する。1回 3,000mg まで増量できる。

【禁】重篤な腎機能障害(前日の尿量が 500mL 以下あるいは投与直前の排尿が 20mL/時以下)のある患者、副腎機能障害(アジソン病)のある患者、高カリウム血症の患者、消化管通過障害のある患者[食道狭窄のある患者(心肥大、食道癌、胸部大動脈瘤、逆流性食道炎、心臓手術等による食道圧迫)、消化管狭窄又は消化管運動機能不全のある患者]、高カリウム血症周期性四肢麻痺の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、エプレレノン投与中の患者

【副】心臓伝導障害

【妊】未確立、有益のみ 【授】未確立、原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳】原則禁忌

\*バンコマイシン塩酸塩

Vancomycin Hydrochloride

【商】塩酸バンコマイシン「MEEK」

Vancomycin Hydrochloride「MEEK」 明治  
内用：散剤 1瓶中 0.5g [後 1,990.5 円/瓶]

【効】①感染性腸炎(偽膜性大腸炎を含む)

②骨髄移植時の消化管内殺菌

【用】①成人 1回 0.125～0.5g を1日 4回投与する。②成人 1回 0.5g を非吸収性の抗菌剤及び抗真菌剤と併用して1日 4～6回投与する。

【警】本剤の耐性菌の発現を防ぐため、「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上、適正使用に努めること。

【禁】本剤の成分によるショックの既往歴のある患者

る患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状★、急性腎不全★、間質性腎炎★、汎血球減少★、無顆粒球症★、血小板減少★、Stevens-Johnson 症候群★、Lyell 症候群★、剥脱性皮膚炎★、第 8 脳神経障害★、偽膜性大腸炎★、肝機能障害★、黄疸★

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則禁忌、投与する場合は授乳中止

\*ジメチコン Dimethicone

【商】ガステール Gasteel 扶桑  
内用：錠剤 1錠中 40mg [後 5.6 円/錠]

【効】①胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善 ②胃内視鏡検査時における胃内に泡性粘液の除去

③腹部 X 線検査時における腸内ガスの駆除

【用】①1日 120～240mg を食後又は食間の 3回に分割投与する。②検査 15～40 分前に、40～80mg を約 10mL の水とともに投与する。

③検査 3～4 日前より、1日 120～240mg を食後又は食間の 3回に分割投与する。

\*イルソグラジンマレイン酸塩

Irsogladine Maleate

【商】イルガス Irgas 日医工  
内用：錠剤 1錠中 2mg [後 7.7 円/錠]

【効】○胃潰瘍 ○下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期

【用】1日 4mg を1～2回に分割投与する。

【妊】未確立、有益のみ

【小】未確立

\*塩化カリウム Potassium Chloride

【商】ケーサプライ K-Supply アルフレッサ  
内用：錠剤 1錠中 600mg (K<sup>+</sup>:8mEq)

[後 6 円/錠]

【効】低カリウム血症の改善

【用】1回 1,200mg を1日 2回食後投与する。

【禁】乏尿・無尿(前日の尿量が 500mL 以下あるいは投与直前の排尿が 20mL/時以下)又は高窒素血症がみられる高度の腎機能障害のある患者、

未治療のアジソン病患者、高カリウム血症の患者、消化管通過障害のある患者〔食道狭窄のある患者(心肥大、食道癌、胸部大動脈瘤、逆流性食道炎、心臓手術等による食道圧迫)、消化管狭窄又は消化管運動機能不全のある患者〕、高カリウム血症周期性四肢麻痺の患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、エプレレノンを投与中の患者

【副】消化管の閉塞・潰瘍・穿孔、心臓伝導障害

【妊】有益のみ

【授】原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【小】未確立

\*アシクロビル Aciclovir

【商】ビクロックス Vicclox 明治  
内用：錠剤 1錠中 200mg [後 84.3 円/錠]

【効】〔成人〕①単純疱疹 ②造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制 ③帯状疱疹

〔小児〕①単純疱疹 ②造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制 ③帯状疱疹 ④性器ヘルペスの再発抑制

【用】〔成人〕①1回 200mg を 1日 5回投与する。②1回 200mg を 1日 5回造血幹細胞施行 7日前より施行後 35日まで投与する。③1回 800mg を 1日 5回投与する。

〔小児〕①1回 20mg/kg を 1日 4回投与する。1回最高用量は 200mg とする。②1回 20mg/kg を 1日 4回造血幹細胞移植施行 7日前より施行後 35日まで投与する。1回最高用量は 200mg とする。③1回 20mg/kg を 1日 4回投与する。1回最高用量は 800mg とする。④1回 20mg/kg を 1日 4回投与する。1回最高用量は 200mg とする。

【禁】本剤の成分あるいはバラシクロビル塩酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、DIC、血小板減少性紫斑病、急性腎不全、精神神経症状、TEN、Stevens-Johnson 症候群、呼吸抑制、無呼吸、間質性肺炎、肝炎、肝機能障害、黄疸、急性膀胱炎

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【低・新】未確立

\*セラペプターゼ Serrapeptase

【商】ヒシターゼ Hishitaze ニプロファーマ  
内用：錠剤(腸溶性) 1錠中 10mg [後 5.6 円/錠]

【効】○次の疾患、症状の腫脹の緩解：手術後及び外傷後、慢性副鼻腔炎、乳汁うっ滞(乳房マッサージ及び搾乳を行っている場合) ○痰の切れが悪く、喀出回数の多い下記疾患の喀痰喀出困難：気管支炎、肺結核、気管支喘息 ○麻酔後の喀痰喀出困難

【用】15~30mg を 1日 3回に分けて毎食後に投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、間質性肺炎、PIE 症候群、ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸

\*メキタジン Mequitazine

【商】メキタゼノン Mekitazenon 日医工  
内用：錠剤 1錠中 3mg [後 5.7 円/錠]

【効】①気管支喘息

②アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴う痒痒(湿疹・皮膚炎、皮膚痒痒症)

【用】①1回 6mg を 1日 2回投与する。

②1回 3mg を 1日 2回投与する。

【禁】本剤の成分・フェノチアジン系化合物及びその類似化合物に対し過敏症の既往歴のある患者、緑内障のある患者、前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸、血小板減少

【妊】未確立、原則禁忌 【授】授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

\*タムスロシン塩酸塩 Tamsulosin Hydrochloride

【商】ハルスローOD Halthrow OD 沢井  
内用：錠剤(口腔内崩壊錠) 1錠中 0.2mg  
[後 86.7 円/錠]

【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害

【用】0.2mg を 1日 1回食後に投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】失神・意識喪失、肝機能障害、黄疸

\*ブロムヘキシン塩酸塩

Bromhexine Hydrochloride

【商】 **ビソポロン** Bisopollon 日医工  
内用：錠剤 1錠中 4mg [後 5円/錠]

【効】 下記疾患の去痰：急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、塵肺症、手術後

【用】 1回 4mg を 1日 3回投与する。

【禁】 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】 ショック、アナフィラキシー様症状

【妊】 未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】 未確立

\*フラボキサート塩酸塩

Flavoxate Hydrochloride

【商】 **ウロステート** Urostate あすか  
内用：錠剤 1錠中 200mg [後 15円/錠]

【効】 下記疾患に伴う頻尿、残尿感：神経性頻尿、慢性前立腺炎、慢性膀胱炎

【用】 1回 200mg、1日 3回投与する。

【禁】 幽門・十二指腸及び腸管が閉塞している患者、下部尿路に高度の通過障害のある患者

【副】 ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸

【妊】 原則禁忌

【小】 未確立、原則禁忌

\*センノシド A・B カルシウム塩

Sennoside A・B Calcium

【商】 **センノサイド** Sennoside 日本化薬  
内用：錠剤 1錠中 12mg [後 5円/錠]

【効】 便秘症

【用】 1日 1回 12~24mg を就寝前に投与する。高度の便秘には、1回 48mg まで増量することができる。

【禁】 本剤又はセンノシド製剤に過敏症の既往歴のある患者、急性腹症が疑われる患者、痙攣性便秘の患者、重症の硬結便のある患者、電解質失調(特に低カリウム血症)の患者には大量投与を避けること、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人<sup>#</sup>

【妊】 未確立、有益のみ

【授】 原則授乳回避

【低・新・乳】 未確立

\*トコフェロール酢酸エステル

Tocopherol Acetate

【商】 **ビタミン E 「NT」** Vitamin E 「NT」 三和化学  
内用：錠剤 1錠中 50mg [後 5.6円/錠]

【効】 ビタミン E 欠乏症の予防及び治療、末梢循環障害(間欠性跛行症、動脈硬化症、静脈血栓症、血栓性静脈炎、糖尿病性網膜症、凍瘡、四肢冷感症)、過酸化脂質の増加防止

【用】 1回 50~100mg を 1日 2~3回投与する。